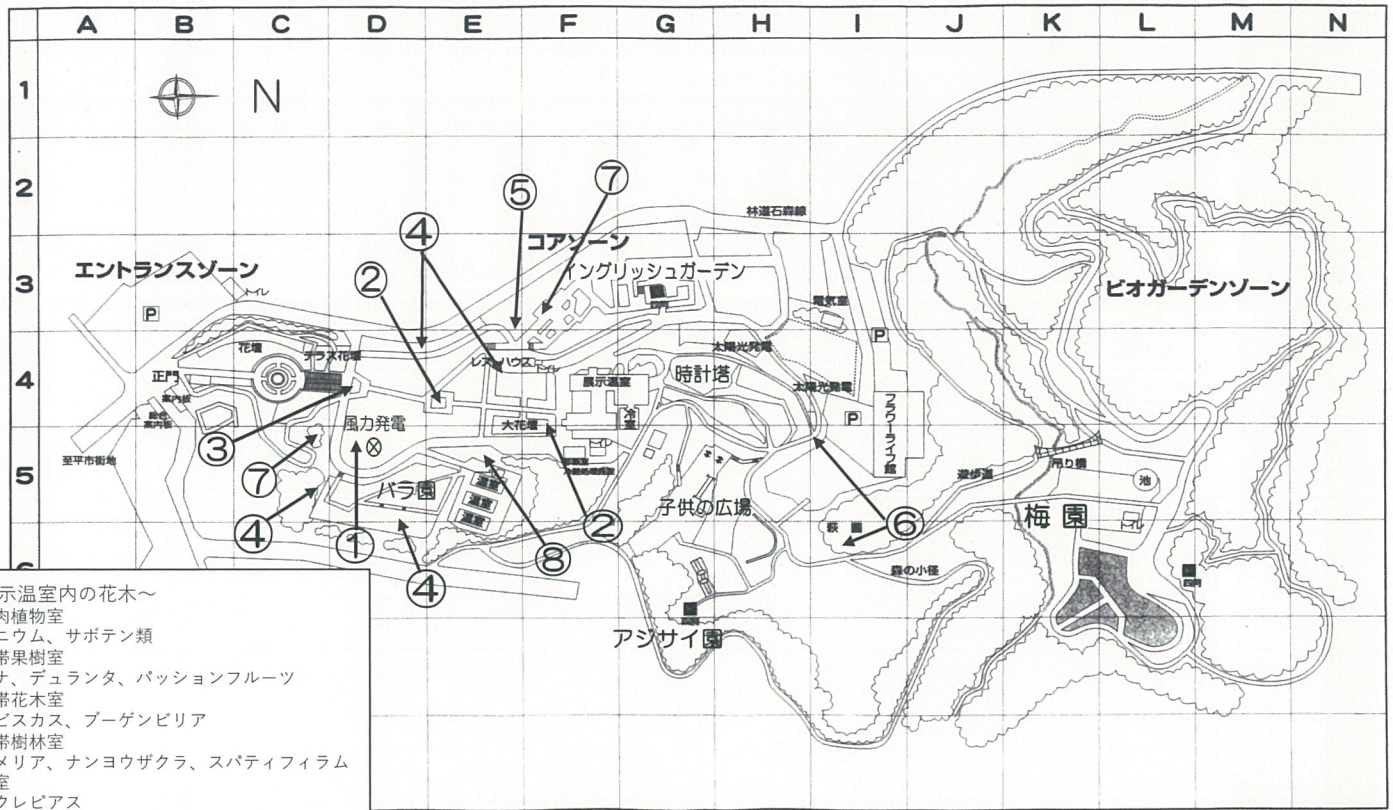


フラワーセンター【8月の花】

2019年度

※園内の植物の盗難が相次いでいます。

園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
 ・多肉植物室
 ゼラニウム、サボテン類
 ・熱帯果樹室
 バナナ、デュランタ、パッションフルーツ
 ・熱帯花木室
 ハイビスカス、ブーゲンビリア
 ・熱帯樹林室
 プルメリア、ナンヨウザクラ、スパティフィラム
 ・冷室
 アスクレピアス

①コキア (展示温室前・風力発電下)



アガサ科 一年草 原産：アジア
 夏になると茎に小花をびっしりと付けます。花には雄花と雌花があります。花びらはなく、淡緑色の萼があります。夏は爽やかなグリーン色の葉ですが、秋になると真っ赤に紅葉する姿が美しいです。

②ベゴニア (大花壇)



シュウカイドウ科 多年草 原産：熱帯、亜熱帯地域
 多年草中では多肉質な木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きベゴニアはベゴニア・センパフローレンスともいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。
 ※一般的には秋には枯れる一年草扱いの植物です。

③ランタナ (大花壇を上げて正面の花壇)



クマツヅラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ
 7～11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせます。花の色が橙から赤というように変化していくので、「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なので、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。

④アガパンサス (レストハウス下、テラス花壇他)



ユリ科 多年草 原産：南アフリカ
 見た目がクンシランに似ていることから和名で「ムラサキクンシラン」と呼ばれますが、クンシランとは全くの別物です。梅雨時期から明けくらいに花を咲かせます。

⑤サルスベリ (イングリッシュガーデン)



ミソハギ科 落葉小高木 原産：中国
 つるつるとしたその樹皮は、猿が登ろうとしても、滑ってしまいそうなことから、サルスベリという名前がついたとも言われています。また、漢字で書くと「百日紅」なのは、約100日間にわたって、ピンクの花を咲かせるようすが由来だといえます。

⑥ミヤギノハギ (フラワーライフ館前駐車場付近)



マメ科 落葉低木 原産：日本
 日本に自生するハギの種類は十数種あり、白い花をつけるシラハギ、葉が円形のマルバハギが知られています。また、仙台市の宮城野から名づけられたミヤギノハギは古来より有名です。普通のハギより上品で優雅で、紅紫色の花をつけます。

⑦ダリア (イングリッシュガーデン・風力発電の南側花壇)



キク科 多年草 原産：メキシコ
 ダリアは大輪種の豪華さ、小輪種の愛らしさ、様々な花色や形などその選択枝の多さが魅力の一つです。花色も非常に豊富です。日本では春に球根を植え付けて夏から秋に花を楽しむのが一般的です。

⑧フヨウ (バラ園の西側通路沿い)



アオイ科 落葉低木 原産：中国中部
 夏から秋にかけて最大直径15cmほどの花を咲かせます。花色は品種によって白～ピンクまで色幅(濃淡)があります。花は朝開いて夕方にはしぼむ一日花で、ひとつの花自体は短命ですが最盛期は暑さにめげず毎日新しい花を途切れなく咲かせてくれます。